

りゅーとぴあ発・新リーディングシリーズ

ふたりものざたり

檀

もう一度、妻になれたら

原作 沢木耕太郎

企画・台本・演出 合津直枝 (テレビジョン)

出演 中井貴一

宮本信子

東京公演 2016年 7月19日(土) 24日(日) 草月ホール
新潟公演 2016年 7月27日(水) りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館・劇場

製作 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

悔いの深さ、愛の重さ

りゅーとぴあ発・新リーディングシリーズ
ふたりとものざたり

檀

もう一度、妻になれたら

原作 沢木耕太郎
企画・台本・演出 合津直枝
(テレビ・ユニオン)
出演 中井貴一
宮本信子



朗読でも演劇でもない、
映像より映像的な時空間へ。

「乳房」は伊集院静が亡き妻・夏目雅子との最後の日々を描いた、わずか30ページの短篇である。不良中年と嘯いていた男が、限りある命を生きたる年若い妻に付き添うさまは、せつなく胸を打つ、忘れがたい珠玉の一篇だ。

舞台化にあたって、妻が逝って7年後、「妻を死なせてしまったのは、自分かもしれない」という痛恨に耐えかね酒に溺れる男の前に、亡き妻が登場させた。

男と妻は、ふたりの短かった幸福の時間を行き来する。やがて、「愛」という言葉を口にできなかった男は、「愛」を実感し、再生へと向かう。

「病室からふたりで眺める花火」の尊さが、見えるだろうか…。「檀」は、「火宅の人」で知られる作家檀一雄の未亡人・ヨソ子に、沢木耕太郎が一年に渡ってインタビュを重ね、夫・檀一雄についてヨソ子の一人称で書かれたノンフィクションである。最後に夫人自身が思いもよらぬ感慨「檀は、わたしのすべてだった」に辿りついたのは、沢木の並ならぬインタビュ力と人間力の賜物だ。

舞台にするため、原作の中に一切登場しない沢木の声を採り取り、沢木のヨソ子への取材をそのままドキュメンタルに再現することにした。

「夜の雪道を転がるように歩く夫婦」の晴れやかなが、見えるだろうか…。

幸運にも、両作とも願ってもないベストキャストが参集してくれた。すぐれた俳優のセリフだけで繰り広げられる、映像より映像的でドラマチックな時空間を楽しんでいただければ、と切に願う。

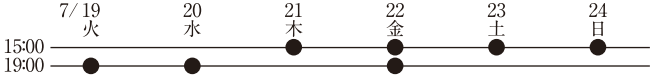
企画・台本・演出 合津直枝
(テレビ・ユニオン)

「あらずじ」
ノンフィクション作家・サワキは、檀一雄の妻・ヨソコに一年余の綿密なインタビュを重ねる。取材の過程で、ヨソコは初めて私小説といわれる「火宅の人」を通読する。「そんなふうには思っていたんですか…」ヨソコは、戸惑い、激しく動揺する。しかし、サワキと語るうちに「私は「愛人」に夫を奪われた可哀そうな妻ではなかった」と、思いがけない感慨に辿りつく。

東京公演=2016年 7月19日(火)~24日(日) 草月ホール

〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 電話:03-3408-1154
地下鉄東京山手線有明駅・銀座線・都営大江戸線「青山一丁目駅」4番出口より徒歩5分。

主催=公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団



料金=全席指定 S席/6,500円 A席/5,500円 B席/4,500円(税込)
「乳房」&「檀」2公演特別セット券(東京) 11,000円
MTP(電話・WEB)のみの取扱い

一般発売=2016年1月23日(土)

チケット取扱い
○M T P 03-6380-6299 <http://www.mtp-stage.co.jp/>よりチケット購入ページへ
○メジャーリーグ <http://www.majorleague.co.jp/>よりチケット購入ページへ
○チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード:447-982】 <http://pia.jp/t/>
○イー・プラス <http://eplus.jp/>(パソコン・携帯)



新潟公演=2016年 7月27日(水) 19:00開演

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館・劇場

主催=公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団 NST

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

料金=全席指定 5,500円(税込)
U25シート 2,500円(税込) (25歳以下の方対象)
【U25シート】[対象] 25歳以下の方(未就学児を除く) [取扱い] りゅーとぴあのみ
※座席はバルコニー席、客席両端など多少観づらなお席となります。
※ご入場時に年齢のわかるものをご提示いただきます。

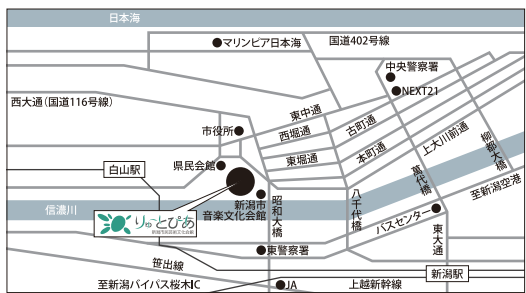
「乳房」&「檀」2公演特別セット券(新潟) 10,000円
りゅーとぴあ(窓口・電話)のみの取扱い

先行発売=演劇バル先行 2016年1月16日(土)
N-PAC mate(友の会)先行 2016年1月20日(水)
一般発売=2016年1月23日(土)

チケット取扱い
○りゅーとぴあ(電話・窓口・オンライン)
チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (11:00~19:00/休館日を除く)
オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>
○ローソンチケット
TEL.0570-000-407(オペレーター予約/10:00~20:00)
TEL.0570-084-003【Lコード30049/24時間受付/自動音声】
○セブンイレブン セブンチケット <http://7ticket.jp/>
○新潟伊勢丹

お申込み・お問い合わせ
東京公演=MTP 03-6380-6299
新潟公演=りゅーとぴあチケット専用ダイヤル
TEL.025-224-5521 (11:00~19:00/休館日を除く)
NSTイベントインフォメーション
TEL.025-249-8878 (平日10:00~18:00)

スタッフ
美術=青木拓也 照明=倉本泰史 音響=清水麻理子 衣裳=宮本茉莉 ヘアメイク=藤井俊二、山崎潤子
演出助手=平井由紀 舞台監督=北条 孝、加藤 高
宣伝美術=東 學 宣伝写真=清 忠之 宣伝ヘアメイク=藤井俊二(中井)、服部真樹(宮本)、奥川哲也(宮本)
衣裳協力=SMI 制作協力=テレビマンユニオン
広報=高仲典子 制作デスク=小笠原京子、小川ちとせ 制作=高比良理恵、有賀美幸 プロデューサー=笹部博司
製作=りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館



■会館のご案内
●新潟駅万代口より車で15分 ●関越自動車道/磐越自動車道新潟中央ICより車で20分 ●新潟駅万代口よりバスで15分~20分 萬代橋ライン(BRT) 青山方面行「市役所前」下車 徒歩5分 ●新潟空港より車で30分

■白山公園駐車場のご案内
●白山公園駐車場A.B.C.D合わせて約580台
※障害者用駐車場スペースを用意しております。※りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料30分 100円)をご利用いただけますが、混雑する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■チケットご購入の際のご注意
※未就学児童はご入場いただけません。また小学生以上の方はチケットが必要です。※お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。※やむをえない事情により内容、出演者等が変更されることがあります。※車椅子席はチケット購入時にお申し出ください。(りゅーとぴあのみで取扱い)

■サポートシステムのご案内
(お申し込み先/りゅーとぴあチケット専用ダイヤル025-224-5521)
【託児サービス】対象:6ヶ月以上~小学校2年生まで
●託児料:未就学児1人1,000円、小学1~2年生1人1,500円
※公演日の2週間前までにお申し込みください。なお定員になり次第、締切らせて頂きます。※公演日前1週間を過ぎてもキャンセルは託児料と同額のキャンセル料が発生します。
【難聴者亦外線補聴システム】あらかじめお申し込みください。